

III 離床を行うまでの基礎技術

III-3. フィジカルアセスメント（疼痛）

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□III-3.1 疼痛に関する基礎知識	□III-3.1.1 疼痛の発生の生理について理解している	□ 疼痛の発生原因を5つ以上挙げられる	R-23 薬剤 J-06 フィ理 フィジ P135-P137	○	
		□ 痛みを認知するメカニズムについて神経回路を用いて説明できる	完全2 P143-P144 脳ガイド P126	◇	
		□ 術後疼痛の悪影響について説明できる		◇	
		□ 疼痛の発生機序について説明できる	完全2 P143-P144	◇	
		□ 神経伝達物質・疼痛関連物質について説明できる	完全2 P143-P144	◇	
		□ 炎症の5徴候について説明できる		◇	
□III-3.2 疼痛の評価の基礎知識	□III-3.2.1 疼痛を評価するスケールについて理解している	□ 疼痛を評価するスケールを3つ以上挙げられる	R-23 薬剤 完全2 P49-P50 フィジ P101 P209	○	
		□ スケールの使用法について説明できる		◇	
		□ 痛みの問診をするポイントを4つ以上挙げられる	J-06 フィ理 フィジ P101	◇	
□III-3.3 疼痛評価	□III-3.3.1 疼痛を評価するスケールについて理解している	□ 疼痛評価スケールを用いて痛みの程度を客観的に評価できる	完全2 P49-50 フィジ P101 P209	◇	
		□ 疼痛を評価するスケールを選択することができる	R-23 薬剤 完全2 P49-50 フィジ P101 P209	○	
		□ NRSを用いて評価ができる	R-23 薬剤 完全2 P50	◇	
	□III-3.3.3 VASについて理解している	□ VASを用いて評価ができる	R-23 薬剤 完全2 P49 フィジ P101 P209	◇	
		□ face scaleを用いて評価ができる	R-23 薬剤 完全2 P50 フィジ P209	◇	
	□III-3.3.5 WHO3段階除痛ラダーについて理解している	□ WHO3段階除痛ラダーを用いて評価ができる	R-23 薬剤	◇	

III-3

フィジカルアセスメント（疼痛）

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
□Ⅲ-3.4 疼痛と離床	□Ⅲ-3.4.1 疼痛を有する患者 の離床について理 解している	□疼痛を有する患者の離床について留意すべきボ イントを3つ以上挙げられる	R-23 薬剤 J-06 フィ理 フィジ P135-P138		☆

大項目	中項目	小項目	確認印	中項目の点 数はP153 に転記して 下さい
／4	／9	／16		←